

【開催趣旨等】

電波を活用した生態位置検知システムに関する調査検討会 開催趣旨

近年、里山の荒廃などにより、野生動物の生息域と人の生活圏が重複する傾向にあります。更に、気候などの変化に伴う食糧不足が加わり、クマ、サルなどの野生動物による住民への危害や、農林業被害が生じ、対策のための人的・経済的な負担も増大しています。

これら野生動物による被害を最小限に抑えるためには、無線通信技術により野生動物の位置把握を行うことが効果的であります。

また、野生動物の個体数や行動等の把握は、自然保護の観点からも重要です。

このため、電波を利用した野生動物の位置や個別識別を行うシステムの早期な研究開発が求められています。

信越総合通信局では、昨年度「アドホックネットワークの活用における調査研究」により、カメラやセンサーと無線通信を組み合わせたセンサーシステムの高度化について、その有効性を検証し、また、北陸総合通信局では昨年度「山岳遭難者探索用ビーコンシステムの高度化に関する検討会」により、位置探索システムの高度化について、その有効性を検証しました。

両局では、こうした状況を踏まえ、野生動物からの被害防止対策を強化し住民生活や農作業の安心安全の確保を図るため、昨年度の検討結果を反映し、より効果的なシステムとして、共同で「電波を活用した生態位置検知システムに関する調査検討会」を設置して、野生動物が住居地域に侵入した際に自動的に検知して警報を発するシステムや電波により正確な位置・行動を探索するシステムの技術的検討を行うとともに、制度化に向けた検討や普及促進に向けた方策等の調査検討を行うものです。

電波を活用した生態位置検知システムに関する調査検討会 開催要綱

1 名称

本会は、「電波を活用した生態位置検知システムに関する調査検討会」(以下、「調査検討会」という。)と称する。

2 目的

調査検討会は、野生動物と共存しつつ、住民生活や農作業の安心安全の確保を図る被害防止対策を強化することを目的に、電波を活用し、野生動物の位置や個別識別を行うなど、高度利用システムの技術的検討を行い、今後の制度化に向けた検討や普及促進に向けた方策等の調査検討を行う。

なお、検討する無線利用システムは、捕獲された野生動物を放獣する際に電波発信機を装着し、住居地域等に侵入した際に検知して警報を発する接近警報型及び発信機からの電波により行動を把握する追尾探査型のシステム方策を検討する。

3 調査検討事項

調査検討会は、上記の目的を達するために次のとおりの調査検討を行う。

- (1) 現在の生態検知システムの現状と利用ニーズ及び利用形態の分析
- (2) 各種利用形態に応じたシステムの要求条件の整理
- (3) 検知システムの提案及び技術的検証
- (4) 高度利用システムの検討
- (5) 制度化に向けた検討や普及方策の検討

4 組織

調査検討会の組織は、次のとおりとする。

- (1) 調査検討会は、委嘱した委員をもって構成する。
- (2) 調査検討会に座長1名、副座長2名を置く。座長及び副座長は、委員の互選によって選出する。
- (3) 調査検討会の調査・検討を円滑に進めるために、次の部会を置く。
 - ア 検知システム部会
 - イ 高度利用システム部会

5 運営

- (1) 調査検討会は、座長が招集し、主宰する。
- (2) 調査検討会の運営に関して必要な事項は、座長が定める。

6 開催期間

平成17年6月から平成18年3月までとする。

7 事務局

調査検討会の庶務は信越総合通信局無線通信部陸上課が担当する。

電波を活用した生態位置検知システムに関する調査検討会 部 会 設 置 要 綱

1 目的

調査検討会の技術的調査検討事項を円滑に進めるため、調査検討会に部会を設置する。

2 調査検討事項

(1) 検知システム部会

接近警報型システムの技術検討や今後の課題等について検討を行う。

(2) 高度利用システム部会

G P S を活用した追尾探査型システムの技術検討や今後の課題等について検討を行う。

3 部会の構成

(1) 部会の構成員は、調査検討会の構成員の中で参加を希望する者及び調査検討会構成員が推薦する者で構成する。

(2) 部会長は座長が指名する。

4 運営

(1) 部会は部会長が招集し主宰する。

(2) 部会の運営に必要な事項は、部会長が定める。

5 庶務

検知システム部会は信越総合通信局無線通信部陸上課が、高度利用システム部会は北陸総合通信局無線通信部陸上課が庶務を担当する。

電波を活用した生態位置検知システムに関する調査検討会
構成員名簿

(敬称略・アイウエオ順)

赤座 久明 富山県立雄峰高等学校 通信制教諭
石田 和人 富山県生活環境部自然保護課 副主幹・野生生物係長
岡田 敏美 富山県立大学工学部 教授
近藤 静也 総務省総合通信基盤局電波部移動通信課第二業務係長
田中 純平 特定非営利活動法人ピッキオ ツキノワグマ保護管理部ディレクター
塚本 久雄 農林水産省北陸農政局生産経営流通部農産課長
羽山 伸一 日本獣医畜産大学獣医学部獣医学科 助教授
半田 志郎 信州大学工学部 教授
山崎 明 長野県林務部森林保全課 主任企画員 森林鳥獣保護ユニットリーダー
:座長 :副座長

<事務局>

親会・検知システム部会 信越総合通信局 無線通信部陸上課
高度利用システム部会 北陸総合通信局 無線通信部陸上課

電波を活用した生態位置検知システムに関する調査検討会
部会構成員名簿

：部会長 ：副部会長

【検知システム部会】

小宮山英一 軽井沢町 観光経済課農林係長
笹森 文仁 信州大学工学部助手
田中 純平 特定非営利活動法人ピッキオ 峡ノケマ保護管理部ディレクター
寺島 正博 エフコム株式会社第四事業部技術部長
野々山 勤 長野日本無線株式会社通信電子技術部通信技術グループ長
細井 忠 大町市 産業建設部農林水産課庶務係長
山崎 明 長野県林務部森林保全課 主任企画員・森林鳥獣保護ユニットリーダー
横田 泰伊 社団法人全国陸上無線協会信越支部相談役

【高度利用システム部会】

赤座 久明 富山県立雄峰高等学校 通信制教諭
石田 和人 富山県生活環境部自然保護課 副主幹・野生生物係長
上馬 康生 石川県白山自然保護センター 研究主幹
岡田 敏美 富山県立大学工学部 教授
片桐 明男 新潟県県民生活・環境部環境企画課 鳥獣保護係長
仲谷 淳 独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構近畿中国四国農業研究センター 地域基盤研究部鳥獣害研究室長
新津 泰亮 農林水産省北陸農政局生産経営流通部農産課鳥獣害対策係
橋爪 一彰 白山市産業部 林業水産課長
樋爪 昭夫 社団法人全国陸上無線協会北陸支部専務役員
松村 俊幸 福井県安全環境部自然保護課 自然環境保全グループリーダー
横山 周一 株式会社横山製作所 代表取締役